

第3期北海道競馬推進プランの進捗状況

（令和3年11月24日(水)
北海道農政部競馬事業室）

1 基本方針

目指す姿	これからも競馬ファンに愛されるホッカイドウ競馬 「道営競馬の開催」と「他主催者競馬の発売」を車の両輪として推進し、道民とともに競馬事業の安定と馬産地の持続的発展を目指す	
経営方針	<ul style="list-style-type: none"> 馬産地競馬を通じ、強い馬づくりと全国への競走馬の供給 場外発売所での他主催者競馬の発売による収益確保 老朽化した基幹施設の配置見直し及び整備更新 	<ul style="list-style-type: none"> ホッカイドウ競馬の認知度向上と発売拡大 騎手・きゅう務員など競馬の基盤となる関係者の確保

2 取組の方向性と進捗状況

第3期プラン	現状	今年度の主な対応と今後の方向性（案）
(1) ヒトの充実		
①騎手・きゅう務員等の確保	<p>○騎手は、令和2年度末で18名。</p> <p>○令和3年度より新人騎手が1名追加になり19名となったが、50代が4名など騎手の確保は引き続き課題。</p> <p>○きゅう務員は10月末現在で192名(うち外国人46名)であり、その確保は課題。</p>	<p>○騎手などを旨とする若者達の普及啓発に向け、今年度に初めて、ポスター・リーフレットを馬産地の中学校、高校に送付（来年度は学校訪問を検討）。</p> <p>○JBC開催日に、馬産地の小学生を招いて競馬観戦、競馬場の見学を実施し、子供達の競馬に対する理解を深めた（資料2-2を参照）。</p> <p>○外国人きゅう務員の定着に向け、日本語講習会を実施するとともに、外国食材の提供店舗の開設を準備。</p>
②きゅう舎経営の安定	<p>○調教師は、令和2年度末の35名から、現在は33名に減少。</p>	<p>○令和3年度予算において、調教師・騎手・きゅう務員に直接支払われる手当を増額。</p> <p>○冬期間の経営安定に向け、ホッカイドウ競馬所属のまま、他競馬場に出走できる環境の構築などを検討。</p>
③関係者における公正確保	<p>○他の地方競馬での不正案件（馬券購入等）が発生。ホッカイドウ競馬においても引き続き厳正な公正確保が求められている。</p>	<p>○開幕時における調教師等に対する訓示会。</p> <p>○騎手・きゅう務員に対する公正確保に関する研修会。</p> <p>○きゅう舎関係者家族の制限事項のリーフレットの作成。</p> <p>○外国人きゅう務員向けの公正競馬ルールブックの配布。</p>

第3期プラン	現状	今年度の主な対応と今後の方向性（案）
(2) モノの充実	①基幹施設の計画的な更新整備	○屋内調教用坂路の南側の林地へのきゅう舎の移転整備に向け、設計等を実施中。
	②場外発売所のあり方の検討	○本年8月に、都市部の場外発売所としては、狭隘だった江別場外発売所を移転（資料2-3を参照）。
	③新型コロナウイルス感染予防対策	○緊急事態宣言に対応し、競馬場の無観客開催や場外発売所の休止、時短営業を実施。 ・門別競馬場の無観客開催 27日間（昨年度 79日間） ・場外発売所の休止（札幌市と旭川市内場外のみ 11日間）（昨年度全場 63日間）
(3) ファンの拡大	①インターネット上の顧客の拡大	○重賞競走などにおいて、ネット上の予想会や道産農畜産物などのプレゼントキャンペーンに取組。 ○インターネット事業者と連携したポイントサービスに取組。 ○インターネット事業者と連携し、POG（ペーパーオーナーゲーム）（注）の取組。
	②顧客の拡大対策（門別競馬場）	○新型コロナウイルス感染予防対策のため、無観客または入場制限（500名）を実施したため、イベント等は実施できず。
	③顧客の拡大対策（場外発売所）	○新型コロナウイルス感染予防対策のため、ファンプレゼントやビアパーティ等のイベントは開催できず。 ○本年8月に、都市部の場外発売所としては、狭隘だった江別場外発売所を移転（資料2-3を参照・再掲）。

（注） POG・ペーパーオーナーゲームの略称。仮想馬主になって競馬を楽しむゲームで、JRAやSPAT4などで実施されている。2歳馬などを対象として、レースで獲得した賞金などにより参加者間で順位を競い合い、賞品などが当たるゲーム。

第3期プラン		現状	今年度の主な対応と今後の方向性（案）
(4) 馬と番組の充実	①馬・馬主の確保	○令和3年度は2年度に比べ、出走延べ頭数・レース数ともに増加。また、1レース当たり平均出走頭数も増加（資料1-1を参照）。	○令和3年度に出走馬確保に向け対策を実施。 ・春先の出走馬確保に向けた早期出走奨励金を措置。 ・3歳までの在きゅうを条件とする競走馬購入費補助の充実 ○令和4年度は番組の充実に向け、3歳馬の確保対策を検討
	②強い馬づくりの推進	○競走馬購入補助金の対象の3歳馬「ラッキードリーム」が、2年振り6頭目となる3冠を達成。 ○ホッカイドウ競馬所属馬・出身馬のダートグレード競走等における令和2年の出走頭数は、新型コロナウイルス感染症の影響により若干減少したが、全出走頭数の2割程度を占めている（資料2-5を参照）。	○屋内調教用坂路を活用した強い馬づくりを引き続き推進。 ○冬期間、ホッカイドウ競馬所属のまま他の競馬場に出走できる環境の構築を検討。
	③魅力ある番組づくり	○ダートレースの最高峰である第2回目のJBC2歳優駿競走を実施（資料2-2を参照）。 ○ホッカイドウ競馬の特色である内回り走路や牝馬戦、2歳戦などを活かした魅力ある番組づくりを引き続き推進。	○準重賞を創設し、3歳馬戦等のレース体系を充実。 ○JBC協会の協力を得て「カウントアップチャレンジ」を創設（3歳以上の重賞競走について、距離適正等のカテゴリーに応じてシリーズ化し、複数回優勝した馬にボーナスを支給）。 ○令和4年度には、盛岡競馬場とでJBC競走を共催し、競走やイベントで連携を検討。 ○馬の確保を通じた少頭数レースの解消。
(5) サービスの向上	①インターネット上のサービスの向上	○(3)-①と同様。	○(3)-①と同様。
	②情報発信内容の改良・充実	○(同上)	○(同上)
	③競馬場や場外発売所の環境改善	○(3)-②・③と同様。	○(3)-②・③と同様。

JBC 2歳優駿競走の実施結果

令和3年11月3日（水祝）門別競馬場において第2回目のJBC 2歳優駿競走を実施。鈴木直道北海道知事が来場し、表彰式等に参加するとともに、主催者として挨拶。

1日全体の発売額は18億2,199万円と昨年の17億3,610万円を上回るホッカイドウ競馬としてレコードを記録。

1 発売結果

1日の発売額	11月3日までの発売累計額
1,821,992,390円（レコード）	51,267,217,350円

※参考（従来のレコード）

令和2年11月3日 1,736,097,980円（第1回JBC 2歳優駿施行日）

2 入場人員

○ 667名（内訳）招待者・馬主350名程度、一般客300名程度（事前申し込み）

3 当日の状況



優勝馬「アイスジャイアント」(JRA所属)



鈴木知事から馬主への表彰



鈴木知事の主催者あいさつ



大井競馬ファンファーレ隊と富川高校吹奏楽部によるファンファーレ演奏



岡田繁幸 追悼展



「うまキッズ」～レース観戦



「うまキッズ」岡田牧雄氏から競馬の説明



「うまキッズ」偶然知事と会い、記念撮影

4 当日の主な取組

- 馬産地の特色を活かすとともに、生産者等のPR等に資するよう取組を展開。

(1) スタリオンステーションとの連携

ア 競走一覧

レース	当日のレース一覧	所在地
第1レース	日本軽種馬協会静内種馬場特別	新ひだか町
第2レース	社台スタリオンステーション特別	安平町
第3レース	優駿スタリオンステーション特別	新冠町
第4レース	ブリーダーズ・スタリオン・ステーション特別	日高町
第5レース	第2回JBC2歳優駿	—
第6レース	レックススタッド特別	新ひだか町
第7レース	アロースタッド特別	新ひだか町
第8レース	SPAT4のお得なポイント賞	—
第9レース	ダーレー・ジャパン特別	日高町
第10レース	イーストスタッド特別	浦河町
第11レース	ビッグレッドファーム特別	新冠町
第12レース	オルフェーブル・プレミアム	—

※ スタリオンステーション競走の際に紹介映像を放映

イ スタリオンステーションPRブースの設置

- スタリオンステーションの役割などを放映するPRブースを門別競馬場、金沢競馬場に設置。



(2) 生産者にスポットを当てた取組

- 各レースとも生産者賞を授与するとともに、実況放送等で生産牧場を紹介。
- JBC4競走の勝利生産者を金沢との2元中継でインタビューを実施。

(3) 追悼「故岡田繁幸」展

- コスモバルクなどホッカイドウ競馬や馬産地に対し大きな御功績を残された故岡田繁幸氏に関する映像放映やパネル・グッズ等を展示。

(4) その他地元との連携

ア 富川高校吹奏楽部によるファンファーレ演奏

- 門別競馬場近隣の富川高校吹奏楽部によるファンファーレ演奏（最終レース）
（東京トウインクルファンファーレ隊とのコラボ演奏）

イ 地元有名飲食店等の出店

- そば、カレー等インド料理、キッチンカー。

ウ 「うまキッズ」

- 新ひだか町の「うまキッズ」(※)を競馬場に招待。レースや競馬場内を視察。
- ※ 地元小学生が地元の基幹産業である馬産地や競馬の理解を深める体験学習を実施。

ホッカイドウ競馬場外発売所 「Aiba（アイバ）江別」 移転オープン

令和3年**8月30日**（月）10:00～

	従前		移転後	
住所	江別市野幌町68番地		江別市東野幌町1-16	
施設概要	施設面積	: 358㎡	施設面積	: 658㎡
	駐車場	: 110台	駐車場	: 120台
	収容人数	: 150名	収容人数	: 155名

□ 立地

- J R野幌駅から徒歩5分
- 近隣には、大規模商業施設が立地
- 公園や遊歩道など市民の憩いの場も近接
- 周辺市町村等からのアクセスも良く、幅広いエリアからの集客が見込まれる



□ 外観等

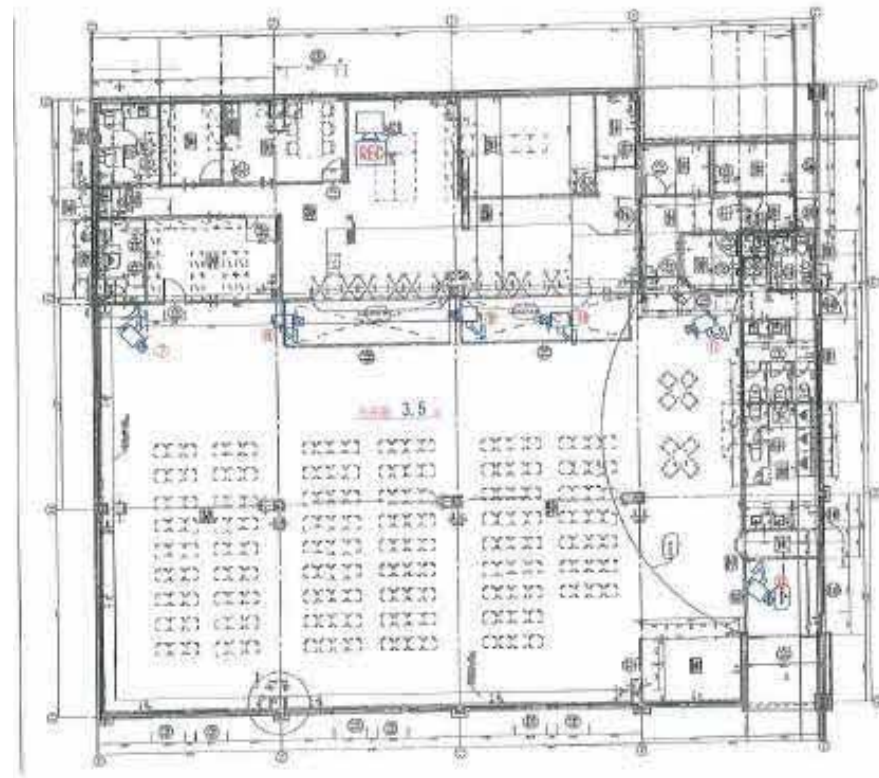
- 沿道からも目立つEBRI様と一体感のあるサインを設置。
「れんがのまち」江別市をイメージしたお洒落で洗練されたデザインがよりインパクト与えています。
- 江別市の街並みや近隣施設と調和を意識したデザインと外観。



□ 場内環境の改善①

○ 従来のA i b aより広々とゆとりある客席スペース。

区分	旧A i b a江別	新A i b a江別
敷地面積	1,080㎡	3,173㎡
施設面積	358㎡	658㎡
駐車場	110台	120台



□ 場内環境の改善②

- 天井から自然光を取り入れられるよう排煙窓を設置し、明るい場内を演出
- 身障者に対応したバリアフリー発売機を全道場外で初設置
- 女性客に対応した広々としたパウダールームやお子様連れでも安心のおむつ替えブースも設置



広々とした発売機スペース



場内を照らす自然光



人と人のスペースが十分確保できる
壁側2面に設置された記載台



車いす用発売・払戻機



換気に対応した喫煙室



清潔感がある化粧室
おむつ替えブース（身障者トイレ内）

□ 働きやすい環境

- 従事員が働きやすい環境とするため、従来よりバックヤード面積を拡充し、従事員作業動線を改善
- 電灯や空調管理が整理員室で集中管理が可能に



整理員室
場内が一望できる窓を
設置し監視が容易に



掲示エリアを常設し、
従前よりスペースを拡充。
情報量が充実し見やすい環境に



広々としたバックヤード

ホッカイドウ競馬の役割について

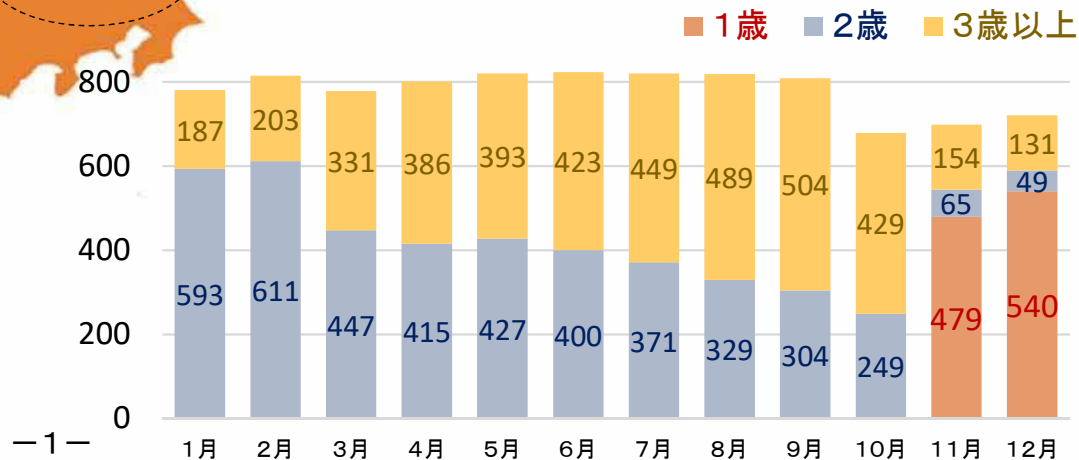
令和3年11月24日
農政部競馬事業室

①馬産地競馬を通じ全国への競走馬供給

②馬産地のセーフティネット



ホッカイドウ競馬の在きゅう頭数(R2)



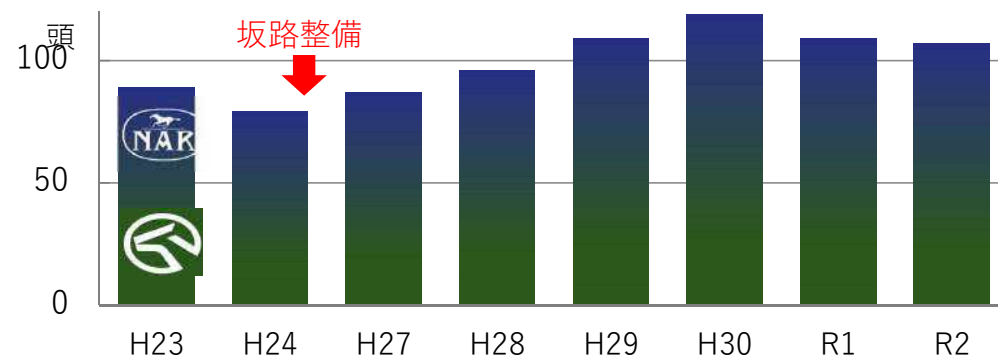
③屋内調教用坂路を活用した強い馬づくりを推進

- 平成24年に地方競馬では初めての屋内調教用坂路を整備し、強い馬づくりを推進



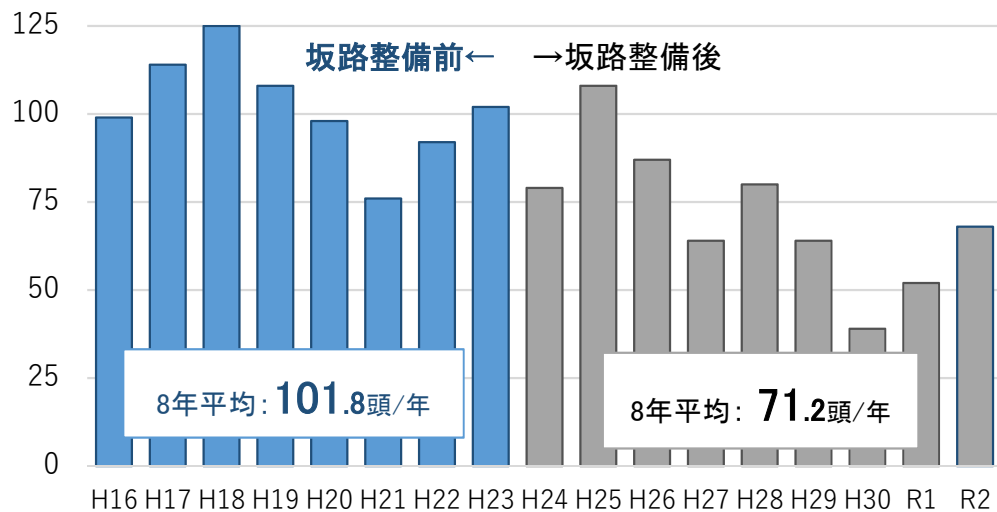
- 坂路整備後、他の地方競馬やJRAへの出走が増加

ホッカイドウ競馬所属馬のJRA・他の地方競馬への合計出走頭数の推移

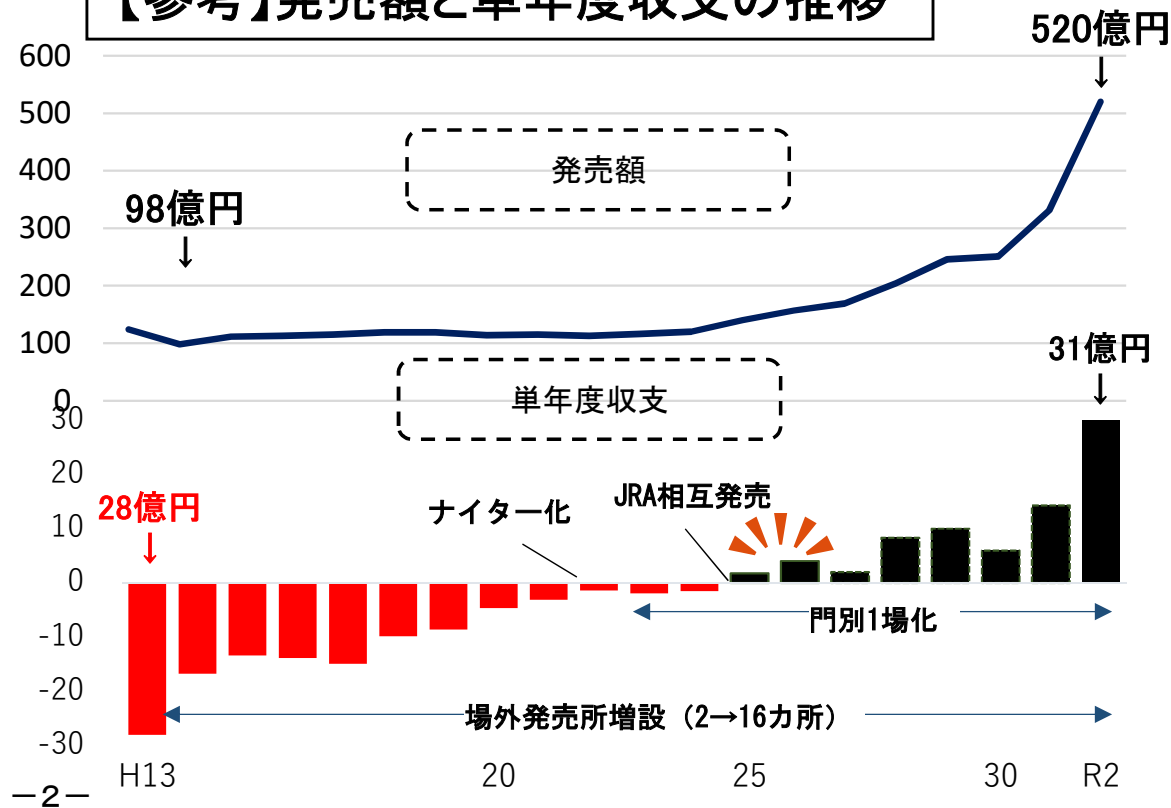


- 坂路により、心肺機能と筋力が強化され、ウッドチップにより怪我防止と疲労回復を促進

傷害の推移



【参考】発売額と単年度収支の推移



ホッカイドウ競馬所属馬・出身馬の出走頭数と成績について

令和3年11月
北海道農政部競馬事業室

1 検討の趣旨

ホッカイドウ競馬所属馬と出身馬について、他の競馬場での出走状況と成績を評価するため、ダートグレード競走(以下「DG競走」と南関東競馬の重賞競走、さらに岩手県の地方交流競走を対象として、年齢別・グレード別に分析。

対象年度は2009年(平成21年)から2020年(令和2年)の12か年とし、暦年(1～12月)で整理。

2 分析方法等

(1)分析方法

①ホッカイドウ競馬関係馬頭数率	○各年の年齢区分別に出走頭数に占める「ホッカイドウ競馬出身馬」と「ホッカイドウ競馬所属馬」を合計した「ホッカイドウ競馬関係馬」の頭数率を算出。
②ホッカイドウ競馬関係馬の着順、入着頭数	○ホッカイドウ競馬関係馬の着順を取得し、平均着順、入着頭数を算出。
③坂路整備前後の成績	○前記データについて、経年推移、坂路整備前後の平均値を算出。

(2)用語の定義

ホッカイドウ競馬所属馬	当該レース出走時にホッカイドウ競馬に所属。
ホッカイドウ競馬出身馬	2歳の新馬戦時にホッカイドウ競馬に所属していた場合は、ホッカイドウ競馬出身馬とした。(1歳からホッカイドウ競馬で調教されていたと想定。例えば、2歳の新馬戦時にJRA等に所属し、3歳時にホッカイドウ競馬に一時的に転きゅうし、その後他の地方競馬に転きゅうした場合には、ホッカイドウ競馬出身馬としない。)
ホッカイドウ競馬関係馬	上記2カテゴリーの総称。合算値。

3 分析結果(まとめ)

(1)坂路整備前後における平均値(全競走)

○屋内調教用坂路の整備後において、ホッカイドウ競馬関係馬の出走頭数が増加。

○競走成績についても、平均着順が向上するとともに、1レース当たりの5着以内頭数が増加するなど向上。

区分	H21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2
	坂路整備前			坂路整備後								
ホッカイドウ競馬関係馬頭数率	16.2%			19.0%								
ホッカイドウ競馬出身馬	11.5%			12.8%								
ホッカイドウ競馬所属馬	4.3%			5.7%								
ホッカイドウ競馬関係馬の平均着順	7.4			7.0								
ホッカイドウ競馬関係馬の5着以内頭数(1R当)	0.7			0.9								

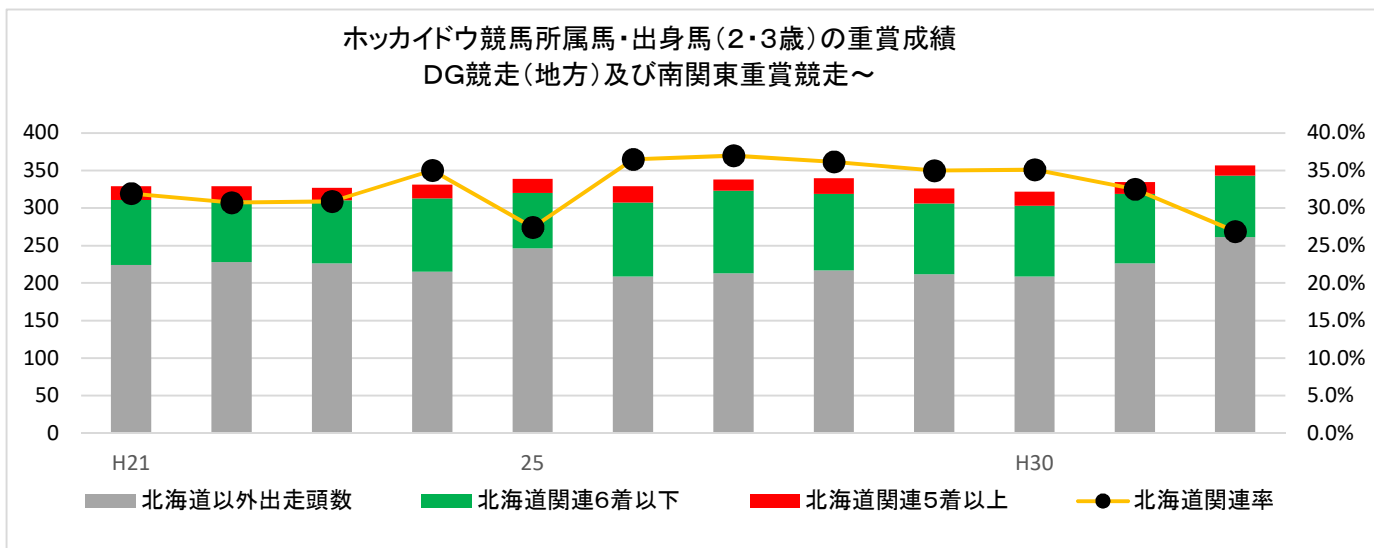
(2)出走頭数(全体まとめ)

○ホッカイドウ競馬関係馬の頭数の割合は、25年度までは15%程度だったのが、平成26年度以降20%以上

区分	H21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	
	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
JRA所属	a	396	371	377	402	404	408	385	399	422	420	413	420
うちホッカイドウ競馬出身	a'	1	8	8	0	3	9	11	17	11	3	0	0
他地方競馬所属	b	873	891	877	893	901	893	917	859	855	872	895	955
うちホッカイドウ競馬出身	b'	143	163	147	156	151	200	226	187	165	157	170	177
ホッカイドウ競馬所属	c	53	52	66	61	61	66	78	87	84	98	92	87
合計(出走頭数)	d=a+b+c	1,322	1,314	1,320	1,356	1,366	1,367	1,380	1,345	1,361	1,390	1,400	1,462
うちホッカイドウ競馬出身	e=a'+b'	144	171	155	156	154	209	237	204	176	160	170	177
ホッカイドウ競馬所属率	f=c/d	4.0%	4.0%	5.0%	4.5%	4.5%	4.8%	5.7%	6.5%	6.2%	7.1%	6.6%	6.0%
ホッカイドウ競馬出身率	g=e/d	10.9%	13.0%	11.7%	11.5%	11.3%	15.3%	17.2%	15.2%	12.9%	11.5%	12.1%	12.1%
ホッカイドウ競馬関係率	h=(c+e)/d	14.9%	17.0%	16.7%	16.0%	15.7%	20.1%	22.8%	21.6%	19.1%	18.6%	18.7%	18.1%

(3) DG競走(JRA除く)と南関東重賞競走におけるホッカイドウ競馬所属馬・出身馬の出走頭数と成績

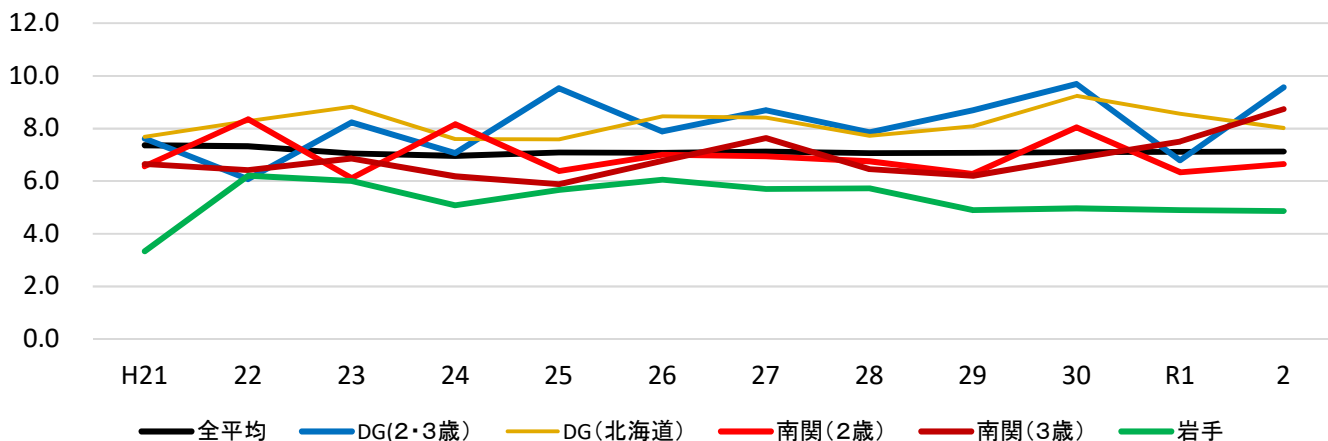
- ホッカイドウ関係馬が多いと考えられるJRA開催を除くDG競走と南関東重賞競走に限り、出走頭数・成績を分析。
- ホッカイドウ関連馬の割合は30%となっている。



(4) 北海道関係馬の成績

- 北海道関係馬の平均着順及び5着以内の頭数は、若干ではあるが改善傾向にある。

北海道関係馬の平均着順の推移



1レース当たり5着以内頭数の推移

